

1月の出来事

- 時 事
 - 1日 08年人口 過去最大の5万人減
 - 2日 08年県内交通事故死、最小の50人
 - 5日 08年新車販売台数、34年ぶり低水準
 - 12日 米入国前の申請 ESTAスタート
 - 16日 大学新卒就職内定率5年ぶり悪化、80.5%(08.11)
 - 17日 東京・町田市の病院でインフルエンザ集団感染、3人死亡
- 山梨県中央会ニュース
 - 10日 第12回中小企業団体新春交流会

2月の予定

- 5日 事務連絡協議会新年会
- 10、12、17、19、23、26日
 - 地域力連携拠点 経営セミナー
- 12、18日 下請代金法トップセミナー
- 13日 第10回正副会長会議

紙面から

- 2面 施策情報
- 3面 景況情報/業界の声
- 4面 アクティブ組合
- 5面 アクティブ組合
 - 地域力連携拠点事業経営セミナー
- 6面 新組合紹介
 - 産業観光フォーラム2009
- 7面 今月のオススメ○○!!
 - 「70歳まで働ける企業」の実現に向けて
- 8面 組合まつり広告/お知らせ

発行所 山梨県中小企業団体中央会
 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
 TEL 055(237)3215(代) FAX 055(237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp>
 e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

山梨県中小企業団体中央会機関誌 平成20年度中小企業組合活性化情報



2月1日（日曜日）2009年 第625/202号（毎月1日発行）
 定価100円昭和36年4月10日 第三種郵便物認可



中小企業新春交流会に 多数の組合関係者が参集

山梨のDNAが未来を変える

本会では1月10日、アイメッセ山梨において「2009・新春交流会」を開催した。新春交流会はアイメッセ山梨で大規模に開催するようになつて12回目となるが、今年も1500人を超える組合関係者の参加を得て盛況であった。

式典講演会・交流会の3部構成で、10時30分の式典開式から午後2時の交流会閉会まで約3時間30分のロングランであったが、初売り、歌、福引き抽選会などがあり、交流会の終了まで多くの参加者が会場内に留まり景気談義等で賑わった。

式典は本会職員の笠井靖子係長の司会で始まり、参加者全員による国歌「君が代」斉唱に続き、勝俣明美副会長の「厳しい1年が予測されるが、このような時にこそ中小企業者が結束した組合活動が重要となります。本日も参加いただいた多くの組合関係者の皆様の奮闘を期待します」との開会の言葉が述べられた。

続いて内藤悦次会長から「今年は我慢の年となるが、リニア新幹線などの新しい材料もあります。リニア駅はどの辺になるのか、知事さんの予測をこの場で発表してもらえないでしょうか。今年の中央会のテーマは「躍動する中小企業・山梨のDNAが未来を変える」としました。山梨市に昨年は根津記念館がオープンしましたが、我が山梨には根津嘉一郎氏を始めとして明治の日本の近代化に活躍した経済人が輩出し甲州財閥という言葉もあります。未曾有の経済危機と言われる今こそ、これらの先人達から脈々と受け継がれる山梨のDNAで未来を切り拓いていきたいと思います」と主催者挨拶が述べられた。

続いて来賓祝辞に入り、横内正明知事から「いま最も大切なのは中小企業対策であります。考えられる対策は迅速に全て行うので、中小企業の皆様は頑張ってください」と力強い激励の祝辞が述べられた。

続いて県選出国會議員の祝辞として、衆議院の堀内光雄議員、小沢鋭仁議員、後藤斎議員、長崎幸太郎議員、赤池誠章議員、小野次郎議員、参議院の米長晴信議員から各々短い時間ではあるが有意義な祝辞が述べられた。

また、議員を代表して森屋宏県議会議長、友好団体を代表して竹井清八県商工会連合会長から祝辞が述べられた。

結びに、武田興光副会長が多数の参加を感謝する閉会の言葉を述べ式典は終了した。

2部の講演会では、新年を明るく迎えるよう毎年楽しい話を聞くことになっており、今年は落語家の三遊亭好楽師匠による「人生好んで楽しむ」の演題で、約1時間に渡り軽妙洒落な話芸を楽しんだ。

3部の交流会は本会職員の白田あけみ係長の司会で開会し、まず来賓として宮島雅展甲府市長の祝辞が述べられ、続いて上原勇七甲府商工会議所会頭の乾杯により始まった。

参加者は例年通り支度された、餅、豚汁、焼きそばなどの手作り料理や鮪の解体などを楽しんだ。また、新春初売りコーナーも設置され、福袋を用意した甲府菓子工業（協）や甲府酒販（協）、大月加工センター（協）やみやがわ食品、西島和紙（協）、富士吉田織物（協）の各コーナーは買い物客で賑わった。

歌手の小島加奈さんの「ほうとう音頭」の披露や、内藤会長をはじめ副会長から提供された家具、ジュエリー、タペストリーなどを景品とした福引き抽選会も行われ、終了まで交流会は大勢の参加者で盛り上がった。



熱演する好楽師匠

(5号:全国的に業況の悪化している業種)

中小企業の資金繰りを応援する 「緊急保証制度」のご案内!

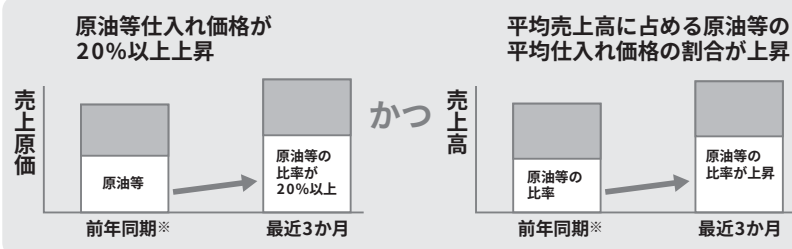
対象業種が
698業種まで
広がりました。

●対象業種については、中小企業庁HP (<http://www.chusho.meti.go.jp>) でご確認ください。

緊急の対象となる中小企業の方

対象業種に属する事業を行っており、次のいずれかの要件に当てはまる中小企業者の方で、事業所の所在地を管轄する市町村長又は特別区長の認定を受けた方が対象となります。

- ①最近3か月間の平均売上高等が前年同期比マイナス3%以上減少している中小企業者。
- ②最近3か月間(算出困難な場合は直近決算期)の平均売上総利益率又は平均営業利益率が前年同期比マイナス3%以上低下している中小企業者。
- ③製品等原価のうち20%以上を占める原油等の仕入価格が20%以上上昇しているにもかかわらず、製品等価格に転嫁できていない中小企業者。



緊急保証の内容

一般保証(2億8千万円(うち無担保8千万円)まで)とは別枠※で2億8千万円(うち無担保8千万円)までの利用が可能です。

この緊急保証制度は、信用保証協会の100%保証です。

※この緊急保証制度は、セーフティネット保証です。既に同保証を利用している場合は合算された額になります。

緊急保証の申込み

- ①本店(個人事業主の方は主たる事業所)所在地の市町村(または特別区)の担当課(商工担当課等)の窓口にて認定申請書を提出し、認定を受けて下さい。
- ②ご希望の金融機関または所在地の信用保証協会に、認定書及び決算書等借入に必要な資料を付して、申し込んで下さい。
- ③申込みの後、金融機関及び信用保証協会の審査があります。

山梨県信用保証協会

●本所
甲府市飯田2-2-1(中小企業会館内)
TEL055-235-9700(代)

●支店
富士吉田市下吉田1832
TEL0555-22-0992(代)

セーフティネット貸付、 セーフティネット保証制度



原材料価格の急騰などの影響により、一時的に売上高や利益が減少しているものの、中長期的にはその業況が回復することが見込まれる中小企業者に対して、運転資金の弾力化などにより、積極的に対応。資金繰りにお困りの中小企業者の方は、セーフティネット貸付、セーフティネット保証の利用を是非検討して下さい。

セーフティネット貸付

セーフティネット貸付は、業種を問わず利用可能です。この貸付の枠も当初3兆円から10兆円にまで3倍以上に拡大します。

全業種の方が、最大で、7億2,000万円(中小企業の方)、4,800万円(小規模企業の方)まで利用できます。

特に業況の厳しい方に対する金利の引き下げも行われる予定です。特別貸付は(株)日本政策金融公庫や沖縄振興開発金融公庫に加え、(株)商工組合中央公庫でも行います。

(株)日本政策金融公庫

▶【中小企業事業】 7億2,000万円

既に中小公庫の一般貸付を利用している方については、一般貸付とは別枠7億2,000万円が限度額となります。

貸付利率:2.3%(業績悪化している方、基準金利から0.3%引き上げ)

▶【国民生活事業】 4,800万円

既に国民公庫の一般貸付を利用している方については、一般貸付と合わせて4,800万円が限度額となります。

※クリーニング業などの生活衛生関係営業を営む方で、振興計画の認定を受けた生活衛生同業組合に属して既に国民公庫の一般貸付を利用し

ている方については、一般貸付と合わせて5,700万円が限度額となります。

貸付利率:2.3%(業績悪化している方、基準金利から0.3%引き上げ)

セーフティネット保証

全国的に業況が悪化している業種に属し、影響を受けている中小企業者について、民間金融機関の融資に対する信用保証協会の保証を通常よりも優遇された条件で保証が受けることができます。

※本制度の利用の際には、各市町村(東京都特別区を含む)の認定が必要です。

▶保証限度額:2億8,000万円

一般保証限度額の2億8,000万円とは別枠での2億8,000万円の保証が受けられます。

*保証料:信用保証協会が設定する料率

一般保証の保証料に比べて割安の保証料が適用されます。

▶保証条件

保証人は本人を除き原則不要。担保は必要に応じて必要になることがあります。

お知らせ

山梨県中央会では、経営セミナーの開催(詳細は8面)や経営相談、専門家派遣など、組合支援だけでなく企業経営のサポートも行っております。ぜひ、ご活用下さい。

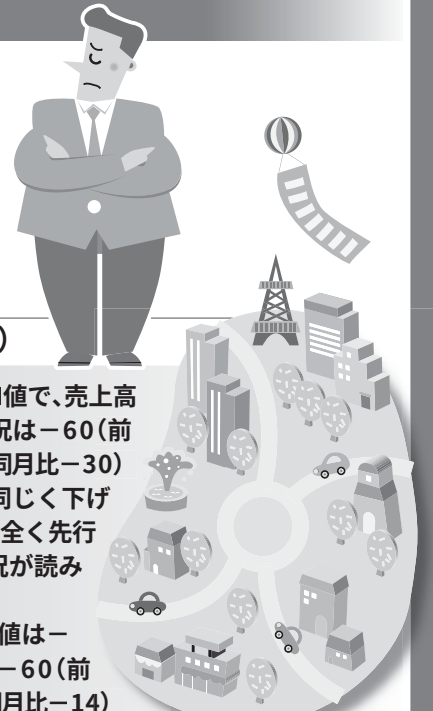
●問い合わせ先 連携支援課 Tel.055-237-3215

▶ データから見た

業界の動き

山梨県中小企業団体中央会

情報連絡員報告(平成20年12月分)



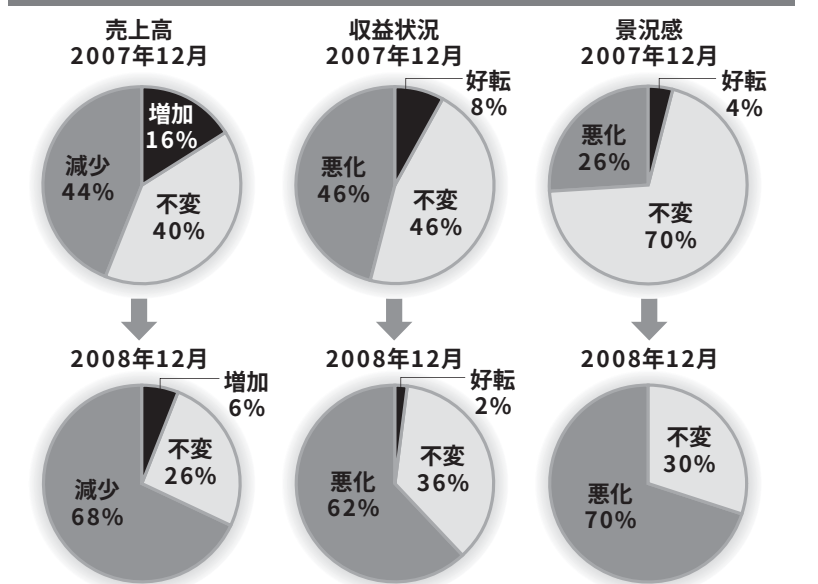
本県の12月の景況は、全業種のDI値で、売上高は-62(前年同月比-34)、収益状況は-60(前年同月比-22)、景況感は-70(前年同月比-30)と依然としてDI値の推移は前月と同じく下げ止まったままで、大きな変化はなく、全く先行きの見えない中小企業の厳しい状況が読みとれる。

業種別では、製造業の売上高のDI値は-50(前年同月比-20)、収益状況は-60(前年同月比-15)、景況感-70(前年同月比-14)であった。

非製造業のDI値においては、売上高は-70(前年同月比-43)、収益状況は-60(前年同月比-27)、景況感-70(前年同月比-30)となった。対前年同月比では、業種全体で景況感が-30ポイント悪化。それぞれの項目でも、製造業、非製造業ともにDI値は大幅に悪化している。

経営環境がさらに厳しさを増す極めて深刻な状況下で、打つ手のない経済対策に対して悲観的な見方がより一層強まってきている状況が、景況動向に関するコメントから伺える。

データから見た業界の動き(平成20年12月分)



トピックス

年の締めくくりとなる12月の調査では、2008年を振り返り、「貴業界へ影響を及ぼした1番の出来事」とその影響について各業界の報告を求めたところ、コメントには「原油価格高騰」「リーマンショック」「サブプライム」「食品偽装」と言った共通するキーワードが集中した。

2008年の前半は、原油価格の高騰による資材・原材料費の値上げによって、ほとんどの業界で収益の悪化を招いた。後半は、サブプライムローンに端を発する要因とリーマンショックによる株安、金融破綻などが、世界規模での金融不安と経済不況の要因になり、「原油価格高騰」と「アメリカ経済の影響」に振り回される結果となった。以下、業界からのコメントの一部を紹介する。

▼ **食料品**／原油高騰に伴う包装資材、原材料が高騰。収益を圧迫。食品偽装で消費者の食に対する不信が増幅。問題の無い物にまでもクレームがあり、対応に苦慮。
▼ **繊維・同製品(繊維)**／経済不

況によりインテリア関係の急激な悪化。中：高級品の売れ行きの悪化。
▼ **紙・紙加工品**／原料資材費が高騰したが販売価格に一部しか転嫁できず収益を圧迫。
▼ **窯業・土石業(砂利)**／民事再生法の適用や関連業界で自己破産する企業が多発、多くの業者に打撃。
▼ **鉄鋼・金属**／金融不況により、9月以降の急激な受注量の減少。円高株安により仕入量の激減。
▼ **一般機器**／世界不況の影響で仕事量が減少、資金繰りの悪化。
▼ **その他(貴金属)**／夏までは地金材料の高騰が続き、秋からの急落の後、今度は世界的不況により、資産が目減り。
▼ **卸売(衣料品)**／原油価格上昇で収益が低下したところから株安で売り上げ減少。
▼ **業界から一言**
● **製造業**
食料品(水産物加工)／おせち関係は大手スーパー向けが減少。ギフト関係はゆうパックが健闘したもの、百貨

店向け、スーパー向けが不振。
● **食料品(洋菓子製造)**／急激な円高で台湾向け輸出が半減。ただし国内向けOEM製品は堅調。
● **食料品(ワイン)**／甲州ワインの認知度はヌーボーフェア、試飲会などを通じて確実に広がっている。一方、メーカー間の格差が拡大している。
● **繊維・同製品(繊維)**／デパートなどの婦人服の売上げの落ち込みが大きく、先月まではある程度売れていたマフラー、スカーフも12月に入ると急激に悪化。今後は今まで以上に受注数量が細くなり、品質に対する要望が厳しくなる。
● **紙・紙加工品**／重油価格が対前月大幅下落。主原料のバルブも値下がり。来月も値下がりの状況。3〜4月頃緩やかな反騰見込み。1月以降生産販売も減少見込み。(季節的要因と需要減退による)
● **窯業・土石業(砂利)**／例年発注される河川護岸工事が本年は発注規模が小さく、12月には骨材を使用するまでには至らず。今後は中部横断自

動車道リニア実験線延長工事により徐々に景況も回復してくる。と期待。
● **窯業・土石業(生コン)**／設備の老朽化、また公共事業の減少などから値上げをしたい。
● **鉄鋼・金属**／パートなどの人員削減を開始する予定。
● **一般機器**／仕事がないため、従業員の出勤を週休3日とした企業もある。

業界及び企業経営について?

私は企業経営において、「利益追求だけではなく、「つながり・信頼」を重視することが必要と考えています。

現在、県内ビルメンテナンス業界は県外企業の参入により「価格競争」が起こっています。そのため極端な低価格による受注を行っている企業が増えており、仕事があるのに儲けがない状況となっています。そのような状況を打開するためには「価格」以外の部分で勝負する事が必要です。それが「つながり・信頼」です。

企業は営利団体なので利益追求が最大の目的ですが、地域貢献などを行うことにより地元との「つながり」が生まれてきます。「つながり」は、やがて「信頼」に変わり、それが仕事の受注につながるのではないのでしょうか。また、「付加価値の創造」も重要と考えています。10万円で受けた仕事に対し、12万円分の価値を感じて頂ければ、それは「付加価値」です。1つの仕事にどれだけの「付加価値」を与えられるか、それが「信頼」となり「つながり」となっていくと思います。

「つながり・信頼」を築くためには長い時間を要するため、すぐに結果がでるものではありません。ただ一度築いた「つながり・信頼」は何よりも強固であり、企業にとって強い武器となると考えています。



組合事務所

業界の



● 山梨総合管財事業協同組合

理事長 三神 茂氏

現在の日本経済について?

マスメディア等の「景気悪化」報道のためか「攻め」ではなく「守り」を重視する経営者が増えているように感じられます。もちろん景気が悪いのは事実ですが「守り」の経営に終止してしまふと経営戦略の選択肢が狭くなる気がします。

あくまで個人的な考えですが、私自身はこの状況を「チャンス」と捉えています。それは現状を「チャンス」と捉えたと様々な経営戦略を考えるようになるからです。その経営戦略こそ、この現状を打開する一手ではないかと考えています。「苦境こそチャンス」と捉えることが、今の企業には大事なのではないでしょうか。

省エネ床冷暖房設備の 施工技術研修会を開催

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨県管設備工業会（望月健二郎理事長）の技術委員会（小田切祐生委員長）では、大栄設備・甲栄興業共同企業体で施工中の「南アルプス市健康福祉センター建設機械設備工事」現場において、「施工技術研修会」と「安全パトロール」を行った。

技術研修会では、品質の高い施工管理、環境に配慮した省エネルギー（井水利用）床冷暖房装置の新しい技術の習得や、提案などの活発な意見交換も行われた。

また、普段、表からは饒舌が難しい隠微いんべい）部分の施工がほぼ完了しているこの時期に行った、「現場巡視中間自主検査」では特段の指摘事項もなく、ハイレベルの施工と緊張感のある安全管理の取り組みが際だって確認された。

今後も施工技術アドバイザー部会が中心となって研修会や安全パトロールを積極的に開催し、会員企業はもろろん業界全体の技術レベルアップと高品質な設備の提供に積極的に取り組んでいく。

協同組合山梨県管設備工業会は、「山梨県全県下を区域とする唯一の管工事業者の協同組合」であり、これらの研修会や勉強会への参加希望者は会員外でも原則受付可能とのこと。また、組合員の新規加入も随時受け付けており、技術と経営に優れた企業を目指して努力している若い経営者の多数参加・加入を期待している。

●問い合わせ・申込み等は

TEL・0555-226-2175

協同組合 山梨県管設備工業会事務局 担当 斉藤まで



工事技術の確認・提案も行われた



現場において施工状況を細かく確認・調査する組合検査委員

TOPICS

山梨県遊技業協同組合

パチンコホールへ 『公的融資及び信用保証』を！

（山梨県遊技業協）が本会に陳情

ACTIVE KUMIAI



内藤会長（左）に陳情書を手渡す大森理事長（右）

山梨県遊技業協同組合（大森正理事長）は12月9日、パチンコホール（店舗）における「信用保証協会」の信用保証及び（株）日本政策金融公庫」の融資の対象外業種の指定解除を求めて、本会に陳情を行った。同組合からはこの日、大森理事長をはじめ、望月副理事長、清水専務理事が訪れ、本会からは内藤会長、新海専務理事、竹村常務理事が陳情を受けた。

陳情内容の詳細としては、①中小企業庁からの通達による公的金融機関からの融資対象及び信用保証の対象外業種の指定は、経営資金の圧迫だけでなく地方公共団体による特別融資（信用保証が必要等で不利益な扱いとなっている）、②この状況は、パチンコホール経営者及び従業員の仕事に対する誇り、アイデンティティに深く関わることである、③これらの状況を理解した上で、「公的資金融資及び信用保証の対象外業種の指定解除」を全国中央会に申し、全国中央会から中小企業庁に陳情してもらいたい、とのことだった。

現在、遊技業界では景気悪化による顧客離れや遊技機価格等の高騰により、経営環境は急速に悪化している。こうした状況を受け、同組合の上部団体である全日本遊技業協同組合連合会（全日遊連）は、①各都道府県の遊技業協同組合による中央会及び各都道府県金融課へ陳情を行うこと、②全日遊連は中小企業庁に陳情すること、を総会及び理事会にて決議し、今回の同組合の陳情となった。

本会としては、今回の陳情を受け、状況を把握した後、直ちに全国中央会に上申した。

その後、全国中央会は12月19日に中小企業庁に陳情を行った。



組合では知的障害者施設への車両の寄贈など、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる

TOPICS

石和温泉旅館協同組合

中国人研修生が笑顔でお迎え

ACTIVE KUMIAI

1月28日「春節祭」のイベントが今年も、富士急ハイランドで開かれ、石和温泉旅館協同組合の組合員及び中国山西省太原旅遊職業学院より研修生46名が参加した。同イベントは、2005年より、毎年、東アジアからの観光客の誘致を目的に、国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業と連携し、富士山を望む富士北麓において、中華圏の休暇の時期、春節（旧暦の正月）に併せ富士五湖観光連盟の主催により開催しているイベントで、同組合では昨年に続き参加し、観光PRを行った。

石和温泉には、年間5万人を超える外国人観光客が訪れているが、特に中国圏の観光客が増加している。このような中、昨年4月に研修生が来日し、組合加盟の16施設において接客マナー等の研修を行っている。研修生には、通訳を兼ねての接客対応、また、帰国後の石和温泉の認知度の向上及び石和温泉への観光客の誘致が期待されており、組合では、中国語のポスターや観光パンフレットを作成し、誘客活動を行っている。



もちつきをする中国人観光客

今年は、誘客活動の一環で研修生が参加し、寒いながらも好天に恵まれる中、中国人観光客も参加して和気あいあいと餅つきが行われ、餅は、つけ粉として振る舞われた。また、研修生による中国茶の作法が披露され、中国人観光客だけではなく、日本人観光客も楽しんでいった。

当日は、中国大使館の崔天凱大使をはじめ、観光庁の本保長官、横内山梨県知事もイベントの視察に訪れ、笛吹市及び石和温泉の研修生の受入事業及び誘客事業への取り組みを認知していただく絶好の機会となった。



研修生による準備風景

TOPICS

山梨県アパレル工業組合

外国人研修生事業
開設5周年記念事業開催

ACTIVE KUMIAI

中央会・会員組合活動紹介



活発な意見交換が行われた

山梨県アパレル工業組合(川手正紀理事長)は、去る12月22日甲府市塩部ニュー芙蓉において、『日中友好と研修事業の発展を期する』をテーマに、このイベントは本組合が実施している「外国人研修生共同受入事業」の開設5周年を記念して行われたもので、中国の送り出し機関を始め、関係機関の代表者、更には研修生・実習生(3～5期生の54名)全員が出席し行われた。



研修生・実習生54名

平成16年に第一期生6名でスタートした「外国人研修生共同受入事業」は、今年11月4日に第5期生19名(7社)を迎えた。全国でも不正行為など様々な問題がある中で、本組合は、技能継承のための労働力確保第一歩を目的に掲げ、アパレル産業発展のために技術指導をおこない、多くの実習生が育っている。また最近では、全国でも先進事例として取り上げられるなど、本事業を通じて多方面から注目されている。

今回のイベントは3部形式で行われ、第1部「開設5周年記念式典」では、(財)国際研修協力機構の佐田道明専務理事など、関係機関代表者から激励の言葉・祝辞が述べられた他、3～5期生のそれぞれの代表者から日頃の感謝の言葉が述べられた。また、研修生の中から、日本語作文コンクールの優秀者に表彰状・記念品などが手渡された。第2部の組合執行部と関係者機関代表者との意見交換会では、「外国人研修生共同受入事業に対する様々な問題について情報交換が行われた。第3部の出席者全員による懇親会・パーティで会は閉められた。

中央会事業報告

平成20年度

地域力連携拠点事業 経営セミナーを開催

「儲けの構造を理解しよう」



「熱心に傾聴する参加者」

昨年12月、(株)タナベ経営より中東和男先生、三浦保夫先生を招き、「儲けの構造を理解しよう」をテーマに、経営者等へのセミナーを開催した。このセミナーは、平成20年度地域力連携拠点事業※1の中で山梨県民信用組合と共催で行われ、6日間県内6会場ですべ195人の会社経営者等の参加を得た。

講演は損益計算書・貸借対照表の見方をはじめ、顧客・取引相手に対しての営業手法、自社の強みの再認識と発揮、ライバルとの差別化、利益の源泉としてのコストのとらえ方、各種回転率に基づくキヤッシュフローの考え方などの内容であり、この不況下を生き抜くためには原点に帰ることの重要性、おろそかになりがちな経営のポイントについて、時に厳しく事例を交えながらわかりやすく説明された。

参加者は非常に熱心に傾聴しており、終了後のアンケートでは約2時間という講演に対して一応に満足して帰られたことが見て取れた。中央会では個企業の様々な経営相談に対応するため、今年2月には第2弾として経営セミナーを県内6カ所で開催する予定です。

参加者は非常に熱心に傾聴しており、終了後のアンケートでは約2時間という講演に対して一応に満足して帰られたことが見て取れた。中央会では個企業の様々な経営相談に対応するため、今年2月には第2弾として経営セミナーを県内6カ所で開催する予定です。

※1 平成20年度地域力連携拠点事業：「中小企業元気力アップ事業」中小企業庁・経済産業省委託事業で地域の中小企業が直面するさまざまな課題に対して、中央会をはじめ支援機関の連携拠点においてワンストップできめ細やかな経営相談・支援を行うもの。



(株)タナベ経営 取締役ネットワーク本部長 中東和男氏

『男性の育児参加促進事業』への取り組み

山梨県中小企業団体中央会 会長 内藤悦次



社会で働く人にはそれぞれ生活の基盤となる家庭や家族があり、男性女性にかかわらずそこで果たすべき責任を持っており、生き生きと働きその能力を遺憾なく発揮できる職場であるためには、仕事と家庭をバランスよく両立できる環境を整えていく必要があると思います。最近よく耳にする「ワーク・ライフ・バランス」は以上のような考え方であり、時代の流れであります。

山梨県中央会は、平成19年度に(財)21世紀職業財団より「男性の育児参加促進事業実施事業主」の指定を受け、本年度まで2年間にわたり男性職員が育児参加しやすい職場風土づくりに向け、職場環境の改善および意識改革に取り組んで参りました。

昨年の金融破綻から始まる不況で雇用不安は拡大しております。この不況下だからこそ経営資源としてのヒトを重視すべきであり、不況を乗り越えるために、就業規則の整備や効率的な人材育成制度を含めた働きやすい職場風土改革を行うことは、職員の働く意欲、経営効率を高め、ひいては企業の成長となります。また将来的にもこの働きやすい職場環境は新規人材の企業を選ぶ際のものさしとなってくると考えられます。

会員の皆様におかれましても業務効率アップと有能な人材確保のために、いきいきと働くことが出来る職場環境整備に取り組んでみてはいかがでしょうか。

新組合紹介「山梨のこだわり」を発信する直売所に



石川理事長と販売スタッフの丸山さん

企業組合 温泉市場しんせん・やまなし

理事長／石川 弘
設立／平成18年6月28日
住所／山梨県山梨市矢坪1669-18
TEL／0553-22-4826 FAX／0553-23-1926
組合員／5名 出資金／100万円

山梨市のフルーツパーク富士屋ホテルの上、「ほったらかしの湯」の一角で、「企業組合温泉市場しんせん・やまなし」（石川弘理事長・組合員5名）は直売所を運営しています。「ほったらかしの湯」は絶景を誇る山の上の温泉としてマスコミにも何度も取り上げられ、首都圏を中心に、遠くは東北・北陸・関西などから年間45万人、1日平均1,200人もの入浴客が訪れる温泉です。

組合は平成18年4月に温泉の休憩所内に直売所をオープン、売上も毎年10%以上ずつ伸び、順調な経営を続けています。昨年11月には新たに店舗を新築、90㎡の新店舗で地元農家の野菜や果物を中心に、地元のお年寄りの作った工芸品や手芸品なども販売しています。

理事長自身も自分で栽培したぶどうを納入するなど、ぶどうの最盛期には収穫と販売の忙しい日々を送っています。

温泉に併設された直売所ということで県外のお客さんも多いため、野菜や果物だけでなく、おみやげ品となるようなものの販売も力を入れています。特に山梨県産のワインや日本酒は専用の販売コーナーを設けています。

また、オリジナル商品として北杜市の福祉施設の製麺工場と提携して開発をした「ほうとう」も置いています。

石川理事長は「ほったらかしの湯」のお客さんは県外の方が90%以上を占め、他の農産物直売所や道の駅などとは客層が違っていますので、県外客に対する山梨のアンテナショップとして山梨県内のものにこだわった品揃えを心がけていきたい。県内の無名だが良いものがあれば、積極的に紹介していきたい。」とこれからの取り組みを語ってくれました。

a new association

「産業観光フォーラム2009」開催

また、人的交流を促進する効果も得られることから、これからの新しい観光活動として注目されています。

「産業観光」は、従来の観光ではなく、体験する、考える、学ぶという、新たな観光形態です。今までと違う体験が感動を生み、地域における人材育成や雇用、地域ブランドの開発など地域の活性化をはじめ幅広い波及効果が期待されています。



熱い意見交換を交わすパネルディスカッション



株式会社石友
松葉 惇 社長



多摩大学大学院教授
望月照彦 先生



原茂ワイン株式会社
古屋真太郎 専務



株式会社オヤマダ
小山田 勉 社長

未開発の産業観光が眠っている宝の山である。」と提唱し、産業観光の意義や効果について語りました。

また、産業観光のコースについて、山梨の偉大な賢人である小林一三をはじめ甲州財閥の足跡を巡るツアーや平和、教育産業などを取り上げ、事例を紹介しました。

続いて、山梨の地場産業の中から、ジュエリー、織物、ワイン業界の代表によるパネルディスカッションが行われ、株式会社石友松葉惇社長（ジュエリー）は、山梨の宝飾の歴史や製造工程を例に挙げ、伝統産業が持つ産業観光の魅力を最大限に活用することが必要であると語りました。

株式会社オヤマダ 小山田勉社長（織物）は、伝統産業と観光資源の連携が産業観光の発展に繋がると唱え、富士山がもたらす自然の力と自身が研究している草木染めを例に挙げました。

原茂ワイン株式会社 古屋真太郎専務は、地域に根づく産業観光こそが、企業にも地域にも最大の得策であり、景観を守ることが地域を愛することに繋がると唱え、近隣の農家と連携を取りながら行っているワイン造りや地産地消の食材を使ったカフェについても熱く語りました。

山梨の産業観光の事例や展望について意見交換した後、望月先生より「産業観光に乗り遅れず山梨県全体が、総力を挙げて取り組めば、国内有数の産業観光トップ県になることができる。そのためには、今後、産業観光を成功させるカギとして、産業観光コーディネーターやコンシェルジュ、市民参加型のフォーラムの開催を推奨する。」と総評を述べられました。

会場内には、パネリストの製品展示も併せて行われ、技術や品質、地域ブランドへの関心の高さが伺われました。

オススメ「こだわりの趣味」▼

こだわりの技術から選り抜かれた…

山梨県中小企業団体中央会 保坂 淳

私には小さい頃からの趣味がある。それは9歳から兄の影響によって習い始めたトランペットという楽器である。

このトランペットという楽器がどんな音なのか…自分が楽器を始めた1970年代に、『水曜ロードショー』というテレビ番組があった。そのテーマ曲という言えぱおわかりになるのではないだろうか。この曲は～ニニ・ロッソ～というトランペッターが演奏したもので、当時、その豊かで、やさしく包み込みような音色に魅了されたオールドファンは多いのでは。

実は私もその一人で、大学まで全ての学生生活で吹奏楽部に所属した私にとって、トランペットという楽器は、○歳を過ぎた今でも自分の一番の理解者である。

吹奏楽の中では様々な主旋律や技巧的なパートを受け持つトランペット。ミスは絶対に許されない。また、その音色や技術がその楽団や演奏の良し悪しを左右すると言っても過言ではない。

ある「モノづくりの現場で磨きをかける」という、その道の熟練者を追うドキュメンタリー番組の中で、トランペットの音色は、楽器自体の形や材質、加工技術によって大きく変わる。その日本の生産メーカーでは、1枚取りといわれるイチヨウ

型の真ちゅう板から作り出す技術をつかって生産され、豊かな響きをだすには一台一台を手作業による加工技術が必要であると紹介されている。

自分自身も楽器購入の際は、同じメーカー、同じモデルでも10本程度は吹き分け自分にあった一番いい楽器を見つける。それは、同じメーカー、同じモデルでも一本一本違うからだ。職人の熟練された技術こだわりの中から、その一本を見極めるのだから選ぶ方も中途半端は許されない。

そんな職人によって丹誠込められ、そして選ばれた一本を手にして付き合っ



▲写真左から
トランペット(C)
トランペット(B♭)
フリューゲルホルン
コルネット

V.Bach(バック) C229L/25H GB SP
V.Bach(バック) 180ML/37/25 SP
F.Besson(ベッソン) Brevete BF15-2 SP
F.Besson(ベッソン) Sovereign BE927-2 SP

いく。楽器だけでなく、最近では、伝統技術を継承されないケースも多くなってきているが、我々吹く側にとっては、そういった職人たちの魂のこもったこだわりを決して忘れてはいけない。

読者の皆さんも、様々な趣味をお持ちの方も多はず。また、これから何か趣味を持とうと考えてる方…ぜひ「こだわり」の趣味を持ってみては!!

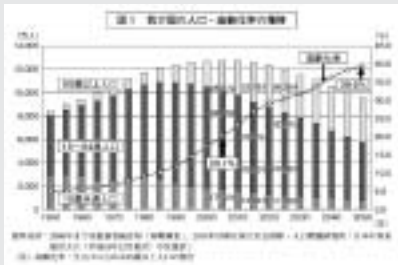
今月のオススメ○○!?

労働力人口の減少に対応！『70歳まで働ける企業』の実現に向けて

1.『70歳まで働ける企業』のメリットと必要性

2005年の国勢調査によると、我が国の高齢化率(全人口に占める65歳以上の人口の割合)は20%を超え、世界の主要国で最高水準となっています。今後もこの高齢化の流れは大きく変わらないと思われ、2050年の高齢化率は40%近くに達すると見られています。こうした中、団塊世代の大量退職や少子化による労働力人口の減少が見込まれ、社会の支え手を確保していくことが必要となっています。

今後は、高齢者が65歳以降も働けるようにするための働き方の見直しや企業の対応のあり方が重要な課題となっています。



2.『70歳まで働ける企業』とは？

「70歳まで働ける企業」とは、「70歳以上の定年の定め」、「定年の定め廃止」、「70歳以上までの継続雇用制度」など、70歳以上まで雇用する制度を導入している企業のほか、企業の実情に応じて何らかの仕組みで70歳以上まで働くことができる企業をいいます。

3.中央会の取り組み

こうした中、本会では山梨労働局委託「70歳まで働ける企業」創出事業に取り組んでいます。本事業は、65歳継続雇用制度等の推進と70歳まで働ける企業の創出に向けて、本事業への参加企業に対し、①社会保険労務士による高齢者雇用等に関する無料出張相談

②高齢者雇用に関するセミナー

を行っています。今後も、多くの企業が『70歳まで働ける企業』となれるよう、支援をしていきます。

4.高齢者雇用に関する奨励金のご案内

中小企業者の高齢者雇用を支援するため、事業主に対して高齢者雇用に関する奨励金があります。

●定年引上げ等奨励金制度

①中小企業定年引上げ等奨励金

高齢者雇用確保措置のうち、「65歳以上への定年引上げ」、「定年の定め廃止」、「希望者全員を対象とする70歳以上までの継続雇用制度の導入」、を実施した事業主に支給されます。

②70歳定年引上げ等モデル企業助成金

70歳以上まで働くことができる新たな職域の開発等に関する計画の認定を受け、波及効果のあるモデル的な取り組みを実施した事業主に支給されます。

③中小企業高齢者雇用確保実現奨励金

傘下の中小企業事業主に対する高齢者雇用確保措置の導入その他必要な雇用環境の整備に係る相談・指導等を実施した事業主団体に支給されます。

※奨励金制度の詳細は…(社)山梨県雇用促進協会(Tel.055-222-2112)まで

お問い合わせ先

「70歳まで働ける企業」創出事業

事務局:山梨県中小企業団体中央会 労働課 Tel.055-237-3215

ホームページ: http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/4_news/temp/70age/index.html

トラックが心で運ぶ 安心・安全、良い環境



ストップ温暖化!!

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起きているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任もって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

この街と生きていく。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク



Face to Face
信用金庫



甲府信用金庫
(055-222-0231)



山梨信用金庫
(055-235-0311)

ATM
全国19,000台

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。(一部対象外のATMがございます。)

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

ご融資期間

最長5年!!

ご融資金額

50万円~
最高500万円!!

スピード

審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
- アイフル株式会社の保証が得られる方

※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー



山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
<http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp>

編集後記

2009年がスタートして早1ヶ月。私はすでに、年始に掲げた計画が頓挫してしまっていますが、皆さんがそれぞれ立てた「1年の計」は、順調に進行していますか？

ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



第14回

中小企業組合まつり開催

主催●山梨県中小企業団体中央会

テーマ

躍動する中小企業!!
『山梨のDNAが未来を変える』

日時

平成21年 **3月8日(日)** 午前9時～

場所

アイメッセ山梨(甲府市大津町)



安協加入で魅力的な特典を

～サービス内容は～

- ◎交通事故による損害賠償等についての弁護士の無料法律相談が受けられます。
- ◎Eメールによる交通安全情報が受けられます。
- ◎交通事故被害者に見舞金が贈呈されます。
- ◎滑り止めのついた運転免許証ケースを贈呈します。

財団法人**山梨県交通安全協会**

TEL 055-280-5550

E-mail ankyou@yln.or.jp

山梨県中小企業団体中央会が推進する
安い掛金で 大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合

山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル
TEL 055-237-8331代

中央会からのお知らせ

専門家の知恵を利用しませんか？

組合および会社、店舗などが直面している様々な課題の解決のために、専門家(弁護士・税理士・社会保険労務士・大学教授・講師など)を活用した支援を行います。

▶中央会が対象経費の2/3を補助いたします。(上限有り)

『個別専門指導事業』(総経費@2万円～6万円程度)

- 指導対象 会員組合及び組合員企業
- 指導内容 専門家による個別相談、講習会、診断
- 対象経費 専門家謝金

●この支援の利用は、必ず組合の担当者にご相談ください。中央会にて審査の上、専門家とともに計画・報告をお手伝いします。

『中小企業元気力アップ事業』

平成20年度 地域力連携拠点事業(中小企業庁・経済産業省委託)

この事業は、地域の中小企業が直面するさまざまな課題に対して、中央会をはじめ支援機関の連携拠点においてワンストップできめ細やかな経営相談・支援を行うものです。

相談・専門家派遣・各種セミナー参加とも **無料** お気軽にご相談ください!!

経営セミナーのご案内

テーマ

『**伸びる企業はここが違う**』
～企業 生き残りの条件～

講師

㈱オンリーワン 代表取締役 経営コンサルタント 古川 英夫 先生

このセミナーでは、業績を伸ばし経営を安定させるための考え方について、事例を交えながらわかりやすく解説します。(業績を上げ続ける商品戦略、ライバルと差別化する目の付け所、やはり会社は社長次第…など)

参加費 **無料**

開催時間 (受付14:45～) **15:00～17:00**

開催日/開催場所 平成21年①2月10日(火)▶中小企業団体中央会(甲府市飯田)

②2月12日(木)▶山梨県民信用組合 鰺沢支店(鰺沢町鰺沢)

③2月17日(火)▶山梨県民信用組合 竜南支店(甲斐市万才)

④2月19日(木)▶山梨県民信用組合 韮崎支店(韮崎市本町)

⑤2月23日(月)▶山梨県民信用組合 都留支店(都留市上谷)

⑥2月26日(木)▶山梨市民会館(山梨市万力公園内)

▶会場の都合がございますので、下記まで**事前の予約**をお願いします。
6会場ともに同内容です。お近くの場所・都合のよい日程をお選び下さい。

問い合わせ・相談窓口

山梨県中小企業団体中央会 TEL.055-237-3215 連携支援課 または 所属組合担当者まで

お知らせ

